



環境保全に関する論点

- 環境保全有識者会議は、リニア中央新幹線の静岡工区について、JR東海におけるトンネル掘削等の工事計画に対する環境保全に関する取組みに関し、科学的・客観的な観点から議論を行うことにより、JR東海に対して指導等を行うことを目的として開催。
 - 第1回から第5回までの議論及び関係者ヒアリングの結果などを踏まえ、今後、JR東海におけるトンネル掘削等の工事計画に対する環境保全に関する取組みの議論を進めていくための論点として、以下の整理が可能ではないか。
- ※ 今後、JR東海は、それぞれの論点について、有識者会議の指導を受け、必要なデータの提示や資料の作成などを行うものとする。

論点

トンネル掘削に伴う地下水位変化による

①沢の水生生物等への影響

- ・モデル、計算方法の検討
 - ・シミュレーションによる分析、実測データの分析等
 - ・生物の生息状況（食物連鎖図を含む）の整理*
 - ・生息場、生息状況からの沢の類型化等
- *整理する範囲についても検討

沢の類型毎の水生生物等への影響分析・評価
(いわゆる沢カルテの作成)

②高標高部の植生への影響

- ・地質や地下水の帶水状況の調査
 - ・高標高部の土壤水や湧水等の起源の調査
 - ・地表面付近の土壤水分の計測等
- ↓
- 植生の水分供給経路の分析

生育場の類型毎の高標高部の植生への影響分析・評価

③地上部分の改変箇所における環境への影響

作業ヤードから放流するトンネル湧水等による環境への影響分析・評価

- ・トンネル湧水等の処理方法の検討（水質、水温）
※排水口・本川合流部の形状等についても検討
- ・トンネル湧水等の水質の管理値の検討等

発生土置き場等による環境への影響分析・評価

- ・発生土（対策土を含む）の処理方法や発生土置き場からの排水の処理方法の検討（水質）
- ・排水の水質の管理値の検討
- ・発生土置き場での地上改変による植生への影響の検討
- ・付帯工事による影響の検討等

（参考）発生土置き場の安定性など構造面に関する論点については、県の専門部会（地質構造・水資源専門部会）等において、静岡県とJR東海との間で対話が行われている

分析・評価

保全措置のあり方

モニタリング・リスク対応のあり方

- ・保全対象とその範囲の検討等
- ・回避・低減措置（薬液注入、発生土置き場の緑化計画等）の検討等
- ・代償措置の検討
- ・代償措置（移しょく等）の検討等

回避・低減措置の考え方の検討

具体的な回避・低減措置の検討

代償措置の検討

上流域が現在抱えている環境の課題
考慮

- ・高標高部の植生に関する鹿の食害
- ・過去の開発行為による環境影響等

モニタリング・リスク対応の考え方の検討

具体的なモニタリング方法・リスク対応の検討

- ・管理指標の検討等
- ・管理値の検討、管理値を超えた場合の対応等